

朝夷郡

〔邊郡、大隅、馭謨、熊毛等郡者不在制限〕謂(中略)安房國安房(中略)筑前國宗形等郡爲(神郡)

〔續日本紀〕文武四年二月乙酉、上總國司請安房郡大少領連任父子況弟、許之。

〔續日本紀〕聖武神龜三年九月己卯、停安房國安房郡。中略采女、令貢兵衛。

〔房陽郡鄉考〕朝夷郡、東南は海に至り、西安房平群二郡に界ひ、北は長狹郡を界とす。

〔房總志料〕安房附録「朝夷郡の夷字を、いなとなへしはひな也、田舎の意、後人誤て奈字を加るものは非也、

〔安房概志〕郡名

朝夷郡 和名抄曰阿佐比奈 東面一帯海ニ濱シテ大洋ヲ受ケ、南白濱村ニ起テ、北長狹郡ト隣ル、

其西方ハ、安房平群ノ二郡ト接壤セリ、此郡ヲ朝夷ト名ルコトハ、國郡ノ東方ニ在テ、前面一帯蒼

海ニ臨ミ、朝日ノ海中ヨリ出ヲ見ル、因テ朝日ノ郡ト呼ブ、万葉集ニハ朝夷ニ作ル、日夷ノ字同ク

ヒナト訓ズ、武夷鳥命或ハ武日鳥命ニ作ルヲ以テミルベシ、里見志ニ丸右近元俊ハ、朝夷郡ヲ自

己ノ名字ニ改テ、丸郡ト號ス、里見氏ノ時ニ至テモ、ナホ丸郡ト呼タルニヤ、里見分限帳ニ、丸郡某

村ト記セリ、又巨松寺鐘銘ニハ、朝平南郡ニ作ル、

〔萬葉集〕二十天平勝寶七歲乙未二月、相替遣筑紫諸國防人等歌、

伊部加是波、比爾比爾布氣等、和伎母古賀伊倍、其登母遲氏、久流比等母奈之、

右一首、朝夷郡上丁丸子連大歲、

〔房陽郡鄉考〕長狹郡、南は朝夷郡に界ひ、西は平群の界に至り、北は上總の國周准、望陀、夷隅三郡の

界に至り、東は海に至る、

〔安房概志〕郡名

長狹郡 和名抄曰奈加佐、南天面村ヨリノ海岸、北小湊ニ至テ限ル、西南ハ朝夷平郡ノ二郡ト接

長狹郡